

報道関係各位

2015.9.29

CSN 地方創生ネットワーク株式会社
空輸を中心とした鮮魚流通の革命
空港内鮮魚仕分け施設「羽田鮮魚センター」
オープンのご案内

CSN 地方創生ネットワーク株式会社(本社:東京都大田区、代表取締役社長 野本良平)は、本日 2015 年 9 月 29 日(火)より空港内鮮魚仕分け施設「羽田鮮魚センター」をオープンいたしました。

第一次産業事業者の所得の向上、真の地方創生を目指し、当社は新しい流通プラットフォームを構築いたしました。

魚介類が持つ「鮮度」という価値を最高の状態で届けるため、羽田空港内に拠点を置き、空輸を中心とした新たな流通の仕組みを通じ、日本全国の新鮮な魚介類を首都圏の飲食店や海外に向け販売してまいります。

「羽田鮮魚センター」は羽田空港第二ターミナル沿いの航空貨物ターミナル施設内に 720 m²の敷地を持ち、鮮魚の仕分けおよびフィレ加工など可食部分のみにする処理を行う施設です。全国各地の産地から集まった鮮魚は「羽田鮮魚センター」内で注文ごとに仕分けられ、首都圏飲食店向けに配送されます。また、和食ブームに沸くアジアからの日本産鮮魚のニーズに対し、産地から最速で出荷・輸入が可能な拠点として機能してまいります。

販売拠点として、WEB 上にオンラインマーケット「羽田市場」(<http://hanedaichiba.jp/>)を開設。首都圏の飲食店と全国の生産者をつなぐことが可能となりました。そして当社と全国の生産者(漁師)の独自のネットワークにより、いつ、誰が、どこで、どのように獲った魚介類かが分かるトレーサビリティを実現。「漁師が品質保証」と銘打った「超速鮮魚®」として販売してまいります。

販売商品としては、全国から届いた魚介類を飲食店向けにセットした「超速鮮魚®ボックス」(5,400 円セット・10,800 円セット、税込・送料別)を中心にご用意しました。

また、「羽田市場」で購入する飲食店には「買参権(ばいさんけん)」※1 という権利を年会費 32,400 円(税込)で提供します。買参権を持つ飲食店は、産地や魚種別に注文できる「相対取引(あいたいとりひき)」※2 やネットライブ配信の「オンラインセリ」といった「羽田市場」内のさまざまな販売方法の中から、店舗にあった方法を選ぶことができます。

今後会員飲食店向けに「オークション」や「産地イベント」なども展開。百貨店、小売店向けの販売も予定しており、初年度 21 億円の売上げを目指します。

「羽田市場」の取引システムは、国立研究開発法人 産業技術総合研究所(産総研)と共同開発した基幹アプリケーション「F・I・S・H(Flexible & Interactive Supply Highway)」によって、大量の注文をダイレクトにマッチングさせることが可能になりました。この基幹システムにより、漁師側は希望の販売価格を提示できるようになり、高値での販売、安定収入の確保が期待できます。

本日オープンする「羽田鮮魚センター」は、空港を拠点とする日本初の鮮魚流通プラットフォームの中核を担う施設※3 であり、第一次産業事業者である漁師の皆様の安定収入の確保に寄与できると考えます。加えて、2015年9月1日にCSN 地方創生ネットワーク株式会社紋別支店を開設いたしました。新鮮な魚介類の仕入れから、6次化の取組みも視野に入れ、現地で2名の社員を採用し、地方の雇用創出にも貢献しています。

また、このたび当社はANAグループで総合物流サービスを展開する株式会社ANA Cargo(本社:東京都港区 代表取締役社長 岡田晃)と鮮魚流通および鮮魚輸出に向けた取組みにおいて提携することを決定しました。

株式会社ANA Cargoは安定した運航と輸送品質、および38路線におよぶ豊富な羽田空港発着のネットワークを持ち、アジアをはじめとする海外へも安全な貨物輸送プラットフォームを有していることから、当社の鮮魚流通事業における空輸部分を担っていただくことで合意いたしました。

CSN 地方創生ネットワーク株式会社では今後、国が掲げる「地方創生」「和食の海外輸出」に対し、産地の価値を消費地に届ける新たな流通プラットフォームで寄与してまいります。

※1 市場で使われる用語。仲卸業者などが市場で買い付けを行える権利のこと

※2 市場で使われる用語。売り手と買い手が直接取引すること

※3 当社調べ 2015年9月現在

[羽田鮮魚センター概要]

全国から最速で届いた魚介類を当施設内で首都圏の飲食店や海外向けに仕分けします。

また、鮮魚仕分けの工程で可食部分のみにする加工を行います。

(三枚おろし、真空包装、骨肉分離)

敷地面積:720 m²

設備内容:仕分け詰替室(185 m²)

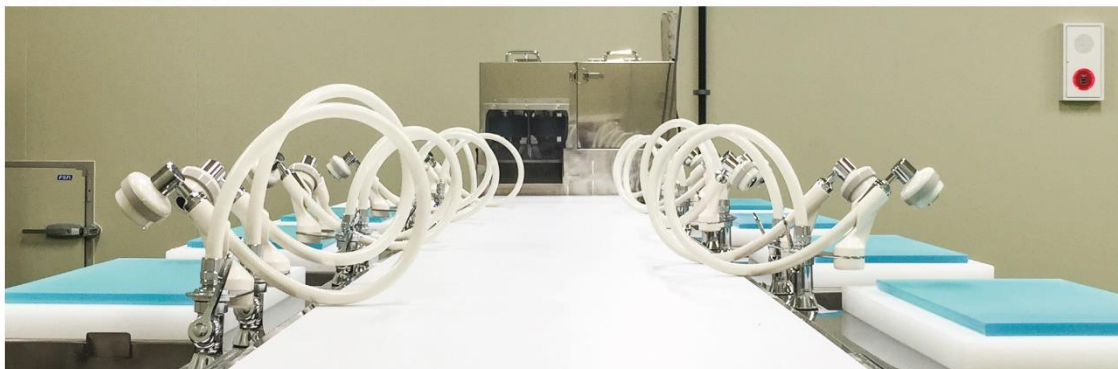
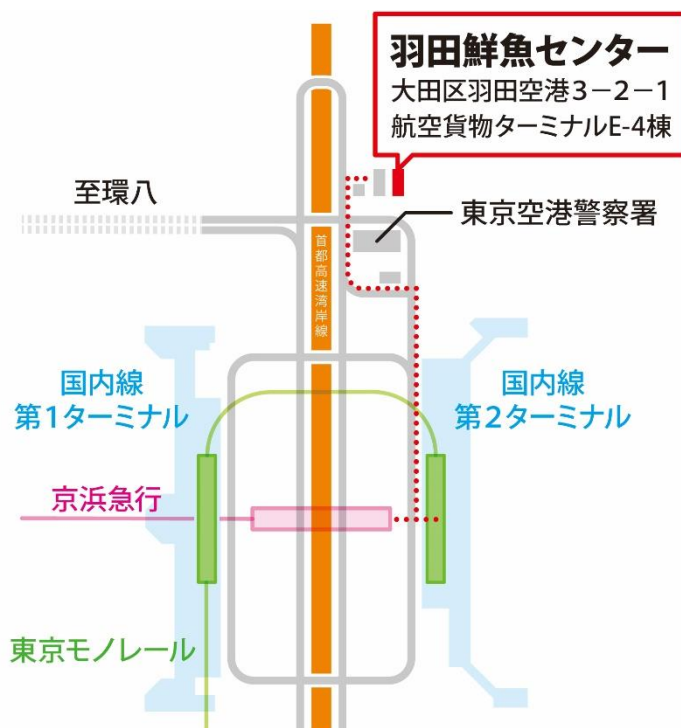
冷蔵室(50 m²)、冷凍室(12.5 m²)

機材:フィレマシン、ロータリー真空包装機、正ピロ包装機、骨肉分離機、
金属探知機・振分け機、音声認識型計量・仕分け・出荷システム

最大処理能力:13t(鮮魚仕分け 8h)

施設場所:羽田空港 航空貨物ターミナル施設

E-4 棟(東京都大田区羽田空港 3-2-1)



◆鮮魚ボックスイメージ写真



◆CSN 地方創生ネットワーク株式会社紋別支店



◆オンラインマーケット羽田市場



報道資料に記載されている情報は発表日現在のものです。時間の経過あるいは後発的なさまざまな事象によって、内容が予告なしに変更される可能性があります。あらかじめご了承ください。

【お問い合わせ先】

<メディア関係者の方>株式会社トゥルートラジェ 担当：久保田・佐々本

電話：03-3406-6646 FAX：03-5766-4585 Mail：csn@trtj.jp

<その他の方> CSN 地方創生ネットワーク株式会社

電話：03-4500-2340 FAX：03-6459-9320 Mail：info@chihouseusei.co.jp

CSN 地方創生ネットワーク株式会社